



## 2025年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月7日

上場会社名 ポールトゥウィンホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3657 URL <https://www.phd.inc>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部长 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 2024年6月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年1月期第1四半期の連結業績(2024年2月1日～2024年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	11,963	9.5	123		91		404	
2024年1月期第1四半期	10,924		298		331		97	

(注) 包括利益 2025年1月期第1四半期 198百万円 ( %) 2024年1月期第1四半期 210百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	11.44	
2024年1月期第1四半期	2.62	

(注) 1. 2024年1月期第1四半期は会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 2024年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率は会計方針の変更を遡及適用しているため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年1月期第1四半期	23,838		12,677		53.2
2024年1月期	24,436		13,441		55.0

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 12,671百万円 2024年1月期 13,435百万円

(注) 2024年1月期は会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年1月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期		0.00		16.00	16.00
2025年1月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2025年1月期の連結業績予想(2024年2月1日～2025年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,840	8.9	118		124		860		24.34
通期	52,028	11.4	2,212	396.2	2,201	318.9	246		6.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

会計方針の変更を遡及適用しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は遡及修正後の数値で算出しております。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年1月期1Q	38,156,000 株	2024年1月期	38,156,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年1月期1Q	2,795,730 株	2024年1月期	2,795,730 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年1月期1Q	35,360,270 株	2024年1月期1Q	37,188,588 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

在外子会社の収益及び費用の換算方法は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更したため、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値で比較分析を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動に十分注意する必要があります。さらに2024年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループにおいては、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルの企画、開発、リリース、運用、改善の工程（サービス・ライフサイクル）において、品質コンサルティング、ゲームデバッグ、ソフトウェア第三者検証、環境構築・移行サポート、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策、BPRサポート等を提供するサービス・ライフサイクルソリューション事業をグローバルで推進しております。当第1四半期連結累計期間においては、ポールトゥウィン株式会社では、業務の標準化、効率化や品質担保、ビッグデータ解析による新ビジネスの創出や人材育成を目的としたプロジェクト管理ツール「FACT」の開発を公表いたしました。株式会社HIKEでは、教育プログラムの共同運営及びアニメーション・ゲーム領域の人材獲得を目的として、韓国・清江文化産業大学校と産学連携協定を締結いたしました。業績については、海外ソリューションが売上を牽引し増収となりました。費用については、国内ソリューションにおける拠点統合費用が大幅に減少しておりますが、海外ソリューションにおける事業整理費用やメディア・コンテンツにおけるゲーム共同開発追加負担費用が発生しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,963,587千円（前年同期比9.5%増）となり、営業損失123,048千円（前年同期は営業利益298,010千円）、経常損失91,548千円（前年同期は経常利益331,085千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失404,501千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益97,512千円）となりました。

業務の種類ごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前第1四半期連結累計期間において、「国内ソリューション」に含めていたPTWジャパン株式会社及び株式会社デルファイサウンドの収益は、会社の所在地ではなく、経営管理上の区分を基準に分類する方法に変更したため、当第1四半期連結累計期間においては、「海外ソリューション」に含めて表示しており、この表示方法の変更を反映した組替え後の数値で比較分析を行っております。

#### ① 国内ソリューション

当業務では、国内子会社において、ゲーム市場向けには、デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外進出支援に関するサービス提供を行っております。Tech市場向けには、ソフトウェア第三者検証、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キッティングに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けには、モニタリング、カスタマーサポートに関するサービス提供を行っております。Tech市場向けの第三者検証やシステム開発は案件の大型化が進み、当業務の売上高成長を牽引いたしました。この結果、国内ソリューションの売上高は6,189,623千円（前年同期比9.3%増）となりました。

#### ② 海外ソリューション

当業務では、主に在外子会社において、デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発に関するサービスを行っております。ゲーム業界の環境が持ち直し、音声収録やカスタマーサポートが増加するとともに円安効果があり売上高が増加いたしました。この結果、海外ソリューションの売上高は4,306,057千円（前年同期比17.2%増）となりました。

#### ③ メディア・コンテンツ

当業務では、主に国内子会社において、「IP360° 展開」を主軸にアニメ制作、ゲームパブリッシング、グラフィック開発、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作に関するサービスを行っております。アニメ制作では制作単価向上もあり売上高が増加しましたが、事業の選択と集中によりマーチャンダイジング事業の売上高が減少した結果、メディア・コンテンツの売上高は1,467,906千円（前年同期比7.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて640,158千円(3.7%)減少し、16,583,341千円となりました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が289,132千円、仕掛品が193,767千円、その他(未収入金等)が110,518千円増加したものの、現金及び預金が1,284,653千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて41,812千円(0.6%)増加し、7,254,734千円となりました。これは、主にのれんが60,781千円、投資その他の資産のその他(出資金等)が25,528千円減少したものの、ソフトウェアが126,143千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて598,346千円(2.4%)減少し、23,838,075千円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて316,980千円(3.1%)増加し、10,389,549千円となりました。これは、主にその他(未払消費税等)が330,422千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて151,233千円(16.4%)減少し、771,352千円となりました。これは、主に長期借入金が87,773千円、退職給付に係る負債が24,049千円、繰延税金負債が36,824千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて165,747千円(1.5%)増加し、11,160,901千円となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて764,094千円(5.7%)減少し、12,677,173千円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が176,430千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が970,265千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は海外ソリューション、利益は各業務とも社内計画を上回り推移しております。第2四半期以降については概ね計画どおり業績推移するものと予測しており、2024年3月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,843,562	6,558,909
受取手形、売掛金及び契約資産	6,448,144	6,737,277
商品及び製品	9,000	60,355
仕掛品	821,129	1,014,896
その他	2,135,561	2,246,079
貸倒引当金	△33,899	△34,176
流動資産合計	17,223,499	16,583,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,269,548	2,330,867
減価償却累計額	△816,941	△886,091
建物及び構築物（純額）	1,452,606	1,444,776
機械装置及び運搬具	74,934	77,448
減価償却累計額	△30,723	△31,959
機械装置及び運搬具（純額）	44,211	45,488
工具、器具及び備品	3,261,567	3,450,265
減価償却累計額	△2,441,588	△2,612,459
工具、器具及び備品（純額）	819,979	837,806
その他	48,902	51,624
有形固定資産合計	2,365,699	2,379,695
無形固定資産		
のれん	1,064,982	1,004,201
ソフトウェア	520,587	646,731
無形資産	735,000	710,500
その他	3,997	3,997
無形固定資産合計	2,324,568	2,365,430
投資その他の資産		
投資有価証券	624,036	622,371
敷金及び保証金	1,166,062	1,175,652
繰延税金資産	464,159	467,415
その他	622,625	597,097
貸倒引当金	△354,229	△352,929
投資その他の資産合計	2,522,654	2,509,608
固定資産合計	7,212,922	7,254,734
資産合計	24,436,422	23,838,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	4,505,970	4,505,970
1年内返済予定の長期借入金	248,227	172,548
未払金	2,912,845	2,999,962
未払費用	545,172	567,191
未払法人税等	521,845	437,778
賞与引当金	28,629	65,797
その他	1,309,878	1,640,301
流動負債合計	10,072,568	10,389,549
固定負債		
長期借入金	240,666	152,893
退職給付に係る負債	153,553	129,503
繰延税金負債	328,281	291,457
その他	200,085	197,498
固定負債合計	922,586	771,352
負債合計	10,995,154	11,160,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,183,442	2,183,442
利益剰余金	11,925,454	10,955,189
自己株式	△2,552,259	△2,552,259
株主資本合計	12,795,701	11,825,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,957	107
為替換算調整勘定	669,089	845,520
その他の包括利益累計額合計	640,131	845,628
非支配株主持分	5,434	6,109
純資産合計	13,441,267	12,677,173
負債純資産合計	24,436,422	23,838,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上高	10,924,567	11,963,587
売上原価	8,181,395	9,495,383
売上総利益	2,743,172	2,468,203
販売費及び一般管理費	2,445,161	2,591,251
営業利益又は営業損失(△)	298,010	△123,048
営業外収益		
為替差益	—	33,279
助成金収入	38,537	3,014
その他	5,024	10,378
営業外収益合計	43,562	46,672
営業外費用		
支払利息	2,977	3,709
為替差損	6,107	—
投資有価証券運用損	—	8,011
その他	1,401	3,451
営業外費用合計	10,486	15,172
経常利益又は経常損失(△)	331,085	△91,548
特別損失		
固定資産除却損	1,805	11,413
投資有価証券評価損	—	49,990
特別損失合計	1,805	61,404
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	329,280	△152,952
法人税等	233,096	250,873
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,183	△403,825
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,329	675
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	97,512	△404,501



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,183	△403,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,594	29,065
為替換算調整勘定	118,277	176,430
その他の包括利益合計	114,683	205,496
四半期包括利益	210,866	△198,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,195	△199,005
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,329	675

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、為替相場が著しく変動する中で在外子会社の業績の重要性が増しており、また、一般消費者向け海外プロダクトビジネスの拡大によって今後もその重要性が増すことが見込まれることから、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、当社は第7期(2016年1月期)において新たに連結会計システムを導入しており、第6期(2015年1月期)以前の期間については会計方針の変更による影響額が軽微であるため、2015年2月1日より期中平均相場により円貨に換算する方法を適用しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上高が24,382千円減少し、営業利益が3,176千円、経常利益が989千円、税金等調整前四半期純利益が989千円、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,833千円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前連結会計年度の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は2,798千円減少し、為替換算調整勘定の遡及適用後の期首残高は同額増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。